

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LUPE		
○保護者評価実施期間	令和8年3月23日		～ 令和8年3月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年3月23日		～ 令和8年3月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和8年3月23日		～ 令和8年3月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小児リハ経験がる専門職、または経験豊富なスタッフを配置できている	リハビリテーション先へも出向き、リハビリの現場も直接確認しながら専門職から直接情報聞き、児童発達支援の現場に反映させる (医療で評価していることを参考にできるようにする。 発達検査等も福祉では時間・場所的に評価は難しいが、内容を共有することで現場で具体的に伝えることができる)	・訪問先で行ったこととを、医療機関や保護者の方にフィードバックすることで、よりリハビリテーションと足並みをそろえて支援できるように働きかける
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員に限られる。訪問できる回数に限られる	現在、兼務体勢で実施しているので、訪問に参加できるスタッフが限られる	・複数名で訪問できる体制を構築する。 ・OJTなどを通して、訪問できるスタッフの育成を行っていく
2			
3			